

トピックス



大阪市北区天満橋 1-8-75 TEL 050-3160-6763
<http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/>



新作紙芝居「もくざいのヒミツ」 デジタル版を作成しました【その1】

【箕面森林ふれあい推進センター】

箕面森林ふれあい推進センターでは、このたび、森林環境教育等に活用してもらえるように新作の紙芝居『もくざいのヒミツ』（デジタル版）を職員の手作りで作成しました。

この紙芝居は21枚で構成されており、人が木材をもっと使いたくなる秘密を楽しみながら学べる内容となっています。

物語は、小学生のハルヒちゃんが、おばさんの家に行ったときに自分の家と比べて雰囲気違うことに驚き、これはなぜなのかと疑問に感じたところから始まります。そのあと

ハルヒちゃんはマイクロサイズになって、木製機の内部に入り込み様々な探検をしながら体験をします。途中で、感じた疑問の答えを見つけたり、柔らかさや香りなどの木材の秘密を楽しみながら学習して、再びおばさんの家にたどりつくという物語です。

小学5年生の社会「森林資源」での関連や、5・6年生の図画工作で木材を使用することになっており、「もくざいのヒミツ」は、その補助教材としての活用に期待しています。小学校低学年の児童にもわかりやすい内容での表現に心がけ作成していますので、幅広い学年で使用していただけたらと思っています。また、未就学のお子さんへの御家庭等での「読み聞かせ」などにも利用いただけたらと思います。

「もくざいのヒミツ」は、当センターが取り組む森林環境教育の中でも積極的に活用していくとともに局のホームページ等に公表し、学校関係者や森林環境教育に取り組んでいる各団体に活用して頂くことを期待しています。



「もくざいのヒミツ」表紙



木材がいっぱいの家



マイクロの世界を探検するハルヒちゃん

地域のNPO団体と共催でカブトムシを通じて「命の尊さを学ぶ」イベントを開催【その2】

【箕面森林ふれあい推進センター】

例年、この時期に実施している森林ふれあい推進事業「カブトムシ里親まつり（飼育編）」を、NPOクワガタ探検隊との共催イベントとして、6月27日（日）に箕面国有林（大阪府箕面市「エキスポ'90みのお記念の森」）において開催しました。当日は4家族14名の方々に参加いただき、直前まで雨が心配でしたが本降りになることなく実施することができました。



国有林を散策（樹皮の特徴を手で触れて確認）



カブトムシと触れ合う親子

参加頂いた御家族には、箕面市生まれのカブトムシ（成虫ペア）を持ち帰ってもらい、御家庭で飼育することで、命の尊さを感じる貴重な経験にして頂ければ幸いです。

当日は、参加者に国有林の散策もしていただき、森の素晴らしさや面白さを学んで頂きました。参加した方からは、「久しぶりにカブトムシと触れ合えて楽しかった」、「子供たちと一緒に良い思い出を作ることができた」などの感想が寄せられ、家族みんなで楽しい時間を過ごして頂きました。

当センターでは、都市部に近接し、観光や野外活動などのレクリエーション利用が多いといった箕面国有林の特色を活かして、地域のNPO団体や教育機関と連携した森林環境教育（森林ESD）、里山再生、森林の獣害対策など地域の課題解決に向けた多様な活動を行っています。さらに、「新しい生活様式」の実践をはじめとした新型コロナウイルス感染症対策を講じた上で森林環境教育及び野外活動等の開催に取り組むとともに、新たな学習指導要領に即した森林環境教育手引書〈小学校編〉の改訂版作成にも取り組んでいます。



カブトムシを服につけてみる様子



カブトムシを手に取り観察する様子

ニュース

「第15回 ^{だいせん}大山夏山開き祭」に参加しました。

【鳥取森林管理署】

6月4日（金）、「大山夏山開き祭」で、山頂祭神事が行われ当署を代表して中本森林管理署長が参加しました。

当行事は例年大山山頂碑前で執り行われますが、今年も昨年に続き新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、麓の夏山登山道近くの大山寺阿弥陀堂横で行われました。



神事の様子

毎年、神事の前夜に行われる「たいまつ行列」は昨年に続き中止となってしまいました。

当日は、天候も悪い中で地元関係者ら10数名ほどと参加者を限定しての神事となりましたが、ダイセンキャラボクの玉串をささげ登山者の安全と新型コロナウイルスの終息を願いました。



ダイセンキャラボクを利用した玉串

新型コロナウイルスが終息に向かい、早く山を愛する県内外の皆様が、不安なく安全に登山を楽しんで頂けるようになることを切に願います。

併せて、大山の大自然の保全を脅かす病虫獣害の森林被害を最小限に抑える努力を続けて参ります。

お知らせ

森林のギャラリー（局庁舎1階）



【技術普及課】

○森林のギャラリー（局庁舎1階）現在の展示内容は下記の局ホームページでお知らせしています。8月2日から環境省近畿地方環境事務所と合同で「山の日」の展示を行う予定です。

<http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/policy/business/sitasimou/gallery/index.html>



○「水都おおさか 森林（もり）の市 2021」は開催中止となりました。

<https://www.rinya.maff.go.jp/kinki/press/sidou/210715.html>



【資源活用課】

○令和3年度国有林間伐・再造林推進コンクールを実施しています。応募締め切り令和3年9月3日（金）

https://www.rinya.maff.go.jp/kinki/hanbai/r3_konnkuru.html



【箕面森林ふれあい推進センター】

○令和3年度「森林ふれあい推進事業」のイベント実施団体等を募集中です。

https://www.rinya.maff.go.jp/kinki/minoo_fc/fureai_suishin/fureai_suishin.html



【林野庁】

○「おかえりモネ」解説ページ

林野庁でも放送されたストーリーに併せて、森林や林業等について独自の解説をしています。

https://www.rinya.maff.go.jp/j/kouhou/housitu/okaeri_mone.html



花草木

【ヤマモモ】

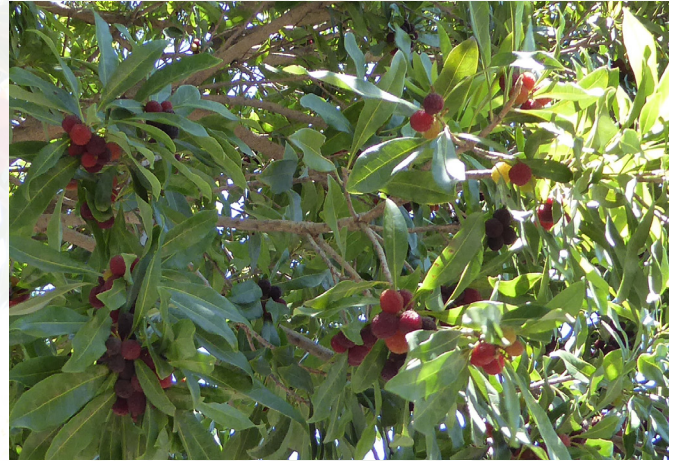
ヤマモモ（山桃、学名：Morella rubra）は、ヤマモモ科ヤマモモ属の常緑樹です。

ヤマモモの名の由来は「山のモモ」の意味で、山に自生していて食べられる果実がなるということから名づけられたようですが、バラ科のモモとは無縁の植物です。

光沢のある常緑の葉で、自然と樹形が整うことから庭木、街路樹などによく利用されています。

初夏にできる直径1～2センチの果実は、表面に小さな多汁質の凹凸があり、6月になると暗い紅紫色（白実もある）に熟します。甘味、酸味に加え、松脂のような雑味があり、中に入っている硬い一粒の種子が邪魔になりますが、生で食べることができます。果実は生食のほか煮物、ジャム、砂糖漬けなどさまざまに利用できますが、生食用には日もちが悪いためあまり市場には流通しません。

ヤマモモの花言葉は「ただひとり愛する」、「一途」、「教訓」です。ヤマモモは雌雄異株で雄株と雌株が離れていても、花粉を飛ばして果実をつけるため、まるで男女の恋愛のようにとらえられ、「ただひとり愛する」という花言葉になりました。また、雄花の花粉は数キロ先まで飛んでいくとされ、まるで意中の人に会うために長旅をしているようで、このことが「一途」という花言葉につながったようです。



大阪市内の公園で撮影したヤマモモの実

我が署のスタッフ

島根森林管理署

西垣 涼香 (にしがき すずか) (令和2年度採用)

【現在取り組んでいる仕事は？】

業務グループに所属し、資源活用と車両業務を担当しています。資源活用は2年目で、立木を伐採し、丸太にして販売する事業等を行っています。規模の大きな業務を担当できることにやりがいを感じています。

車両業務の担当は今年度からで、署の車両の管理・修繕等の事務を行っています。資源活用とはまた違い、頻繁に外部の方とやりとりするため慣れないことも多いですが、周囲に教えていただきながら進めています。

車両を適切・安全に管理することは、現場仕事が多くそれに伴う危険も多い国有林野業務においては重要な仕事であるという気持ちを持ちながら取り組んでいます。

【職場の雰囲気は？】

分からないことは聞きやすく、先輩方には幅広い知識を教えていただき、毎日勉強です。OJTや研修などで担当業務以外についても教えていただく機会があり、現場で実践的な指導もしていただいています。また、仕事とプライベートのメリハリがあり、充実しています。

【林野庁の魅力は？】

国有林という大きなフィールドを持っているところです。これは他の公務員と比べて特別なところだと思います。現場で仕事をすることもあり、自然の中で働きたいと思っていた私は楽しく仕事できています。



国有林内で林道測量のOJT中

森林事務所紹介

大津森林事務所 (滋賀森林管理署)

首席森林官 古久保 順之 (ふるくぼ のぶゆき)

大津森林事務所は、滋賀県大津市の一部・栗東市・甲賀市の一部を管轄区域としており、16 団地 4265.55 h a の国有林を管理しています。

管轄する国有林は、人里から外れた国有林もありますが、大津市の瀬田川より西側にある国有林では、住宅地に近い国有林もあることから、住宅地周辺では災害に強い森林づくりを行うとともに、定期的な巡視により、住宅地へ危害を及ぼす恐れがある木の処理を行いながら住民の暮らしを守っています。また、琵琶湖の水源にもなっていることから、計画的な森林整備を行いながら水資源の確保に貢献できる森林づくりも行っています。



住宅地に近接する大谷国有林 (大津市)



「近江湖南アルプス自然休養林」一丈野国有林 (大津市)

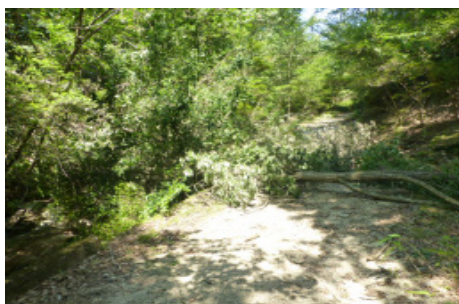
も森林散策が楽しめるようになってきました。遊歩道は 2.5 km もあり、その周りには、秋から冬にかけて赤い実をたくさん実らせるモチノキ科の「タマミズキ」が自生しています。

年間を通して多くの方々に利用されていることから、登山道やその周辺の林野巡視を行いながら、安全に利用していただけるよう案内看板の設置、危険木の処理、登山道の修理を行っています。

森林官の業務は、国有林周辺で暮らしている方々や国有林を利用されている方々の声を聞く機会が多くあり、その方々の声が活かせるよう業務に取り組んでいます。

大津市と栗東市にまたがる^{いちじょうや こんげやま}一丈野・金勝山国有林では、「近江湖南アルプス自然休養林」を設定しており、溪流をたどりながらの自然探勝、奇石群の山頂にある天狗岩や耳岩などをたどる登山、^{こまさかまがいぶつ}狛坂磨崖仏・逆さ観音などの歴史をたどる散策、オランダ堰堤付近や清流での水遊びなど、変化に富んだ森林レクリエーションが楽しめる場所となっています。

「たまみずきの道」は、ユニバーサルデザインの手法により設計された遊歩道で、段差を無くし、簡易な舗装を施しているため、車いすやベビーカーを利用される方



倒木処理 (前) たまみずきの道



倒木処理 (後) たまみずきの道

シリーズ『国有林 最前線！』

コロナ禍での研修実施について

総務課



Web研修（研修生・Web画面）（令和3年6月）

近畿中国森林管理局では、新型コロナウイルス感染症の蔓延により、研修の延期や中止が相次ぎましたが、令和2年の秋から感染状況等を踏まえ、少しずつ研修を再開しています。

研修の再開にあたっては、新型コロナウイルス感染防止対策を講じたうえで、実習を伴う研修については、必要最小限の日程での集合研修の実施、実習を伴わない研修については、Webでの研修を実施しています。

Web研修は、令和2年度は、4つの研修について実施し、令和3年度は、6月までに2つの研修について実施しました。

Web研修は、当局として初めての試みということで、当初は要領がつかめないところはありませんでしたが、これまで大きなトラブルもなく実施できている状況です。

Web研修を受講した研修生からは、「特に問題ない」、「移動や宿泊が無いので楽」等といった肯定的な意見もありましたが、その一方で「研修生同士のコミュニケーションがとりづらい」、「集中力を保つのが難しい」等の課題に対する意見もありました。

職員の知識、技能等を向上させるためには継続して研修を行う必要があります。今後も、新型コロナウイルス

感染症のような感染症の事態に柔軟に対応できるよう研修の実施方法も工夫した取組が必要と考えています。

Web研修一つをあげても使用するソフトや機器によって、研修生同士のコミュニケーションが向上するものもありますので、そうしたソフト等の導入も視野に研修生の意見を踏まえ、効果的、効率的な研修となるよう取り組んでいきます。



Web研修（局研修生・研修室）（令和3年6月）



新型コロナ対策を講じての集合研修（令和3年6月）